

阪神電気鉄道 株式会社

大阪市福島区



新開業の阪神なんば線 2 駅舎はエコ・アイスで空調

拡める



九条駅

2009年3月20日に開通した阪神なんば線(尼崎~大阪難波)により、阪神三宮駅から近鉄奈良駅間約65.2kmが、阪神電気鉄道と近畿日本鉄道の相互直通運転により約80分で結ばれた。ファッションブルな神戸・三宮と歴史ある古都奈良が乗換えなしで結ばれ、広域的な移動の利便性が向上し、大阪都心部を中心とした東西都市軸の機能が強化された。



桜川駅

また、西九条から大阪難波の各駅において地下鉄、JR、私鉄線などにそれぞれアクセスすることから、既存の鉄道との優れたネットワークが形成され、関西圏の活性化や利便性が向上し、まちの発展に大きく貢献している。

今回新設された3駅(九条駅、桜川駅、ドーム前駅)はいずれも地下駅であり、一般的な地上駅に比べて駅付帯設備が多くなるた

め、省エネルギー機器の積極的な採用や制御・運用を工夫した設計となっている。特にエネルギー使用比率の高い駅舎空調については高効率の水冷ブラインチラーを使用したエコ・アイスを採用。CO₂発生量の少ない夜間電力で生成した氷は、主に最大電力のピークとなる通勤ラッシュ時間帯や、昼間時間帯に集中的に放熱する運用を行い、環境負荷低減を図っている(九条駅、桜川駅で採用)。

同社では「環境にやさしい鉄道」を目指し、さまざまな取り組みをこれからも実施していく。

阪神電気鉄道の主な蓄熱システム導入実績

- 九条駅 2009年
エコ・アイス(セントラル) 熱源機: 水冷ブラインチラー
694.8kW (製氷時)×1基、氷蓄熱槽: 46.7㎡×2基
- 桜川駅 2009年
エコ・アイス(セントラル) 熱源機: 水冷ブラインチラー 936kW
(製氷時)×1基、氷蓄熱槽: 6.3㎡×12基
- ドーム前駅 2009年
地域熱供給(岩崎橋地区地域熱供給)